

10 月 28 日：VN 指数は薄商いの中反発 (VN-Index +0.16%)

- VN 指数は先週までの低調な展開を払しょくするべくして前営業日終値を上回って開始した。
- しかし、堅調な動きは長続きしなかった。不動産、小売などの大型株が集まるセクターの下落が影響した。
- 後場に入ると指数は上昇に転じ、一度反落を見せたものの、最終的には小幅高で本日の取引を終えた。
- 素材、石油・ガスセクターが堅調であった一方で、不動産セクターは前場に引き続き指数の重しとなった。
- 211 銘柄が上昇、162 銘柄が下落、69 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は低下し、前日比 21.2%減の 10.8 兆ドンとなった。

VN30 指数は反発 (VN-30 +0.21%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、15 銘柄が上昇、9 銘柄が下落、6 銘柄が変わらずであった。
- VHM (-2.62%)が指数全体の下落に最も影響を及ぼし、VNM (-1.13%) and HDB (-0.93%)も同様に軟調であった。
- HPG (+1.13%)、PLX (+1.08%)は上昇したが、上げ幅はわずかだった。

セクター・個別株の動き

- VIC (-0.24%)は、人工知能 (AI) 事業の新興企業を支援する VinVentures Technology Investment Fund の設立を発表した。その資産は 1 億 5000 万米ドルで、主にビングループからの調達資金を運用する。
- GEX (+0.73%)は 2024 年第 3 四半期決算を発表した。同社は純収入 8 兆 7,090 億ドン (前年同期比 5.9%増)、税引前利益 5,020 億ドン (同 34.1%増) を記録した。第 3 四半期の純収入の伸びは主に電気機器セグメントのプラス成長によるものである。

- 外国人投資家は 4,570 億ドルを売り越した。MSN (+0.91%) に 2,000 億ドルを超える売り越しが集中した一方、買い越しが顕著であった銘柄は見られなかった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。